

タイで交流、ロイクラトン祭りにも参加

11月1日から5日まで日タイ修好130周年などの記念式典に参加するため、タイのメーサイ市を訪れた達生堂グループや結城市民約100人は、メーファールワン財団の庭園や麻薬博物館、メーサイ高校などを訪問、同財団や同高職員・生徒、メーサイ市職員、メーサイ病院職員らと交流を深めました。滞在中にロイクラトン祭りに参加、コムローイ（熱気球）などを体験。城西病院からメーサイ病院にCTスキャンを贈呈しました。

ロイクラトンは、日本の灯籠流しのような行事で、バナナの皮などで作ったクラトン（灯籠）に明かりを灯し、川に流します。コムローイは、ロイクラトン祭りと合わせてタイ全土行われ、ランタンを空高く飛ばし、感謝の気持ちを伝える仏教行事です。

ロイクラトン祭りに参加した一行は、メーサイ市を流れるサイ川ほとりの寺院の開催イベントに参加。地元の子供たちの舞台を鑑賞し、ダンスの輪に入って地元の人と一緒に楽しみました。

地元の子供たちが作ったクラトンに火を灯し、サイ川に次々と流しました。コムローイではランタンに吊り下げられた円盤に火をつけて、その熱でランタンを膨らませ、タイミングを計って空高く飛ばしました。上空ではさまざまな場所から飛ばされた無数のランタンが赤い光を放って夜空を彩っていました。

平成29年11月13日

